

成人造血細胞移植患者のQuality of Life (QOL) に 関連する要因の検討 (2)

大木桃代¹⁾, 森 令子²⁾, 井関 徹³⁾, 尾上裕子²⁾, 須山寿子²⁾, 高橋 聡⁴⁾, 浅野茂隆⁵⁾

Factors Relating to Quality of Life(QOL) after the Hematopoietic Cell Transplantation in Adult Patients (2)

Momoyo Ohki, Reiko Mori, Tohru Iseki, Yuko Ogami,
Hisako Suyama, Satoshi Takahashi and Shigetaka Asano

はじめに

東京大学医科学研究所附属病院においては、白血病や悪性リンパ腫等の血液疾患患者に対して、骨髄移植や臍帯血移植等、多数例の造血細胞移植を行っている。このような重篤な疾患に罹患し造血細胞移植を受ける患者の身体的、経済的、そして精神的負担がきわめて大きいのは言うまでもないが、患者を支える家族やキーパーソンへの負担もまた同様に大きい。したがって患者のQOL向上のために、医療スタッフとしては、患者のみならず家族やキーパーソンに対するサポートも不可欠である。そしてそのためには、患者と家族やキーパーソン間の様々な意識や状態認識の相違について、医療スタッフも把握しておく必要があると思われる。

このような背景から、大木・森・井関・尾上・須山・高橋・浅野(2002)は、成人造血細胞移植患者のQOLに関連する要因を検討するための基礎的研究として、患者の属性とキーパーソンから受けているサポート、QOL、現在の体調・生活、将来の不安について検討した。その結果、キーパーソンから受けているサポートが多いほど、QOLは高く、また現在の体調・生活における問題や将来の不安は少ないという傾向が認められた。

本研究はその基礎的研究の続報として、キーパーソンが患者のQOLや体調、将来の不安などをどのように捉えているかを検討することを第一の目的とした。具体的には、キーパーソンが“患者の気持ちになって推測した”患者の(1)受けているサポート、(2)QOL、(3)現在の体

1) 文教大学人間科学部人間科学科

2) 東京大学医科学研究所附属病院看護部

3) 東京大学医科学研究所附属病院輸血部

4) 東京大学医科学研究所附属病院先端医療研究センター分子療法研究分野

5) 東京大学医科学研究所附属病院長・先端医療研究センター長

調・生活、(4) 将来の不安、の4点に関して、移植後患者の属性(性別・現在の年齢・移植後の年数・移植の種類)およびキーパーソンの属性(性別・現在の年齢)による差の検討を目的とした。さらにキーパーソンが“患者の気持ちになって推測した”患者の(1) QOL、(2) 現在の体調・生活、(3) 将来の不安の3点に関して、同じくキーパーソンが推測したサポート量の差による差を検討することを第二の目的とした。

方法

対象：1990年4月より2002年7月までに東京大学医科学研究所附属病院において、骨髄移植(血縁、非血縁)、血縁者間末梢血幹細胞移植、臍帯血移植のいずれかを受けて退院した患者400名のうち、連絡可能であった194名および患者本人がキーパーソンと考える人物を対象とした。回答が返送され、患者とキーパーソン両方のデータがそろっている124組を分析対象とした。ただしサポートに関する項目は、調査用紙の不備により37名を削除した87名を分析対象とした。患者およびキーパーソンの属性は表1-1～表1-3の通りである。

質問紙：患者用、キーパーソン用ともに、(1) フェイスシート、(2) サポート、(3) QOL、(4) 現在の体調・不安、(5) 将来の不安、の5つのパートから成っていた。

(1) 患者用のフェイスシートでは、性別、年齢(10歳代、20歳代、30歳代、40歳代、50歳以上)、移植の種類(骨髄移植(血縁)、骨髄移植(非血縁)、臍帯血移植、末梢血幹細胞移植)、移植後の年数(6ヶ月未満、6ヶ月以上1年未満、1年以上2年未満、2年以上3年未満、3年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上)、キーパーソン(配偶者、父、母、子供、兄弟姉妹、その他の親戚、恋人、婚約者、友人、その他)等8項目を尋ねた。キーパーソン用のフェイスシートで

表1-1 対象者(患者)の属性(性別・現在の年齢・キーパーソン)

属性	性別		現在の年齢					合計(人)
	男性	女性	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳以上	
妻	人数(人)	43	0	3	12	12	16	43
	割合(%)	100.0	0.0	7.0	27.9	27.9	37.2	
夫	人数(人)	24	0	0	7	17	0	24
	割合(%)	100.0	0.0	0.0	29.2	70.8	0.0	
母	人数(人)	20	17	5	16	12	4	37
	割合(%)	54.1	45.9	13.5	43.2	32.4	10.8	
その他	人数(人)	7	13	1	3	7	3	21
	割合(%)	35.0	65.0	4.8	14.3	33.3	14.3	
合計	人数(人)	70	54	6	22	38	40	125
	割合(%)	56.5	43.5	4.8	17.6	30.4	32.0	

(割合はキーパーソンごとの全体に対する人数比)

表1-2 対象者(患者)の属性(移植後の年齢・移植の種類)

属性	移植の種類	移植後の年数						合計(人)
		6ヶ月未満	6ヶ月以上 1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	
骨髄移植(血縁)	人数(人)	0	2	4	8	10	27	80
	割合(%)	0.0	2.5	5.0	10.0	12.5	33.8	
骨髄移植(非血縁)	人数(人)	0	2	3	0	5	4	14
	割合(%)	0.0	14.3	21.4	0.0	35.7	28.6	
臍帯血移植	人数(人)	3	6	7	8	2	0	26
	割合(%)	11.5	23.1	26.9	30.8	7.7	0.0	
末梢血幹細胞移植	人数(人)	1	1	0	1	0	2	5
	割合(%)	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	40.0	
合計	人数(人)	4	11	14	17	17	33	125
	割合(%)	3.2	8.8	11.2	13.6	13.6	26.4	

(割合は移植種類ごとの全体に対する人数比)

表1-3 対象者(キーパーソン)の属性(性別・現在の年齢)

属性		現在の年齢					合計(人)
性別		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳以上	
男性	人数(人)	0	0	6	14	14	34
	割合(%)	0.0	0.0	17.6	41.2	41.2	
女性	人数(人)	3	5	14	23	45	90
	割合(%)	3.3	5.6	15.6	25.6	50.0	
合計	人数(人)	3	5	20	37	59	124
	割合(%)	2.4	4.0	16.1	29.8	47.6	

(割合は性別ごとの人数比。1名の年齢は不明のため、表1-3には含まれていない。)

は、性別、年齢、仕事の有無、通院が必要な病気の有無、患者通院時の付き添いに関する計5項目を尋ねた。

(2) サポート項目は、Dakof & Taylor (1990) を参考に、がん患者が有益だと感じるサポート、有益でないと感じるサポートを項目化した10項目であった。

(3) QOLの測定にはWHO/QOL26 (田崎・中根, 1997) を用いた。WHO/QOL26は身体的領域、精神的領域、社会的関係、環境の4下位尺度24項目と、生活の質および現在の体調の計26項目からなる。

(4) 現在の体調・生活は、森・須山・尾上・井関・浅野・大木 (2001) において、患者が現在の不安として自由記述で挙げた内容を参考に、医師・看護師の臨床的経験に基づいて作成された30項目であった。

(5) 将来の不安も (4) と同様にして作成された12項目であった。

(2) から (5) について、患者に対しては、各項目が現在の自分にあてはまるかどうか、5段階で回答を求めた。キーパーソンに対しては、自分が患者に対してどのように見ているかではなく、患者がキーパーソンである自分をどのように感じているのか、また患者が患者自身の体調などをどのように感じているかを“推測して”回答するよう求めた。

なお本研究においてはキーパーソンのデータのみを報告する。

手続き：患者とキーパーソンそれぞれの封筒に、別個の調査用紙を入れて送付し、互いに相談することなく、独自の判断で回答するよう求めた。回答を終えたら、個々の封筒を密封し、両方一緒に返送してもらった。なお個人を特定しないために、返信は無記名で文教大学へ返送するようにした。調査時期は2002年7月～8月であった。

分析方法

(1) 属性の群分け：各属性は、人数の分布を考慮し、以下のような群分けを行った。

性別は男女の2群とした。

年齢に関しては、10歳代と20歳代を合計し、20歳代以下、30歳代、40歳代、50歳以上の4群とした。患者・キーパーソンいずれも同様の群分けであった。

移植後の年数は、6ヶ月未満と6ヶ月以上1年未満を、また5年以上10年未満と10年以上を合計し、1年未満、1年以上2年未満、2年以上3年未満、3年以上5年未満、5年以上の5群とした。

移植の種類は、末梢血幹細胞移植がすべて血縁者間であったため、骨髄移植(血縁)と血縁者間末梢血幹細胞移植を合計し、骨髄移植(血縁)・骨髄移植(非血縁)・臍帯血移植の3群とした。なお、移植の種類は移植後の年数と関連があるため、移植の種類による分析を行う際には、移植後5年以内の患者のみを対象とした。

キーパーソンは、配偶者をその性別から妻と夫に分けた。また、父、子供、兄弟姉妹、その他の親戚、恋人、婚約者、友人、その他を合計して、その他とした。その結果、妻、夫、母、その他の4群となった。

(2) サポート項目の分析：有益なサポートが多いほど高得点になるように、有益でないサポート項目の点数を変換した。したがって、有益でない表現の項目は、高得点ほどそのサポートが少ないことを示す。項目ごとに平均値を算出した。

(3) QOL項目の分析：WHO/QOL26は、標準的手続きに従って逆転項目の点数を変換し、各項目および身体的領域、精神的領域、社会的関係、環境の4領域ごとに平均値を算出した。高得点ほどQOLが高いことを示す。

(4) 現在の体調・生活項目の分析：同項目に関しては、高得点ほど現在の体調が悪いことを示すよう、逆転項目を変換した。したがって「(職場、学校、家事など) 以前と同じようにできる」は高得点ほど、以前ほど同じようにはできないことを示す。項目ごとに平均値を算出した。

(5) 将来の不安の分析：将来の不安も、項目ごと平均値を算出した。高得点ほど将来の不安が高いことを示す。

結果

1. 患者の属性による“キーパーソンが推測した”患者が受けているサポートの差の検討

(1) 性別

キーパーソンが推測した患者が受けているサポート項目（以下サポート項目）の患者の性別の平均値および標準偏差は表2-1の通りである。サポート各項目を患者の性別によってt検定した結果、いずれの項目においても患者の性別の有意差は認められなかった。

(2) 現在の年齢

患者の現在の年齢別のサポート各項目の平均値および標準偏差は表2-1の通りである。サポート項目の得点を従属変数、患者の現在の年齢の4群を独立変数とした一要因分散分析を行った。その結果、「私に関心・共感・愛情を示す」($F(3,83) = 4.62, p < .01$)において患者の現在の年齢の主効果が認められた。多重比較の結果、30歳代より20歳代以下の患者の方が高得点であると推測されていた。

(3) 移植後の年数

移植後年数別のサポート各項目の平均値および標準偏差は表2-2の通りである。サポート項目

表2-1 キーパーソンが推測した患者のサポート項目の平均値と標準偏差(全体・患者の性別・患者の年齢別)

サポート項目	全体		性別				性差	年齢								年齢差
	平均	SD	男性		女性			20歳代以下		30歳代		40歳代		50歳以上		
			平均	SD	平均	SD		平均	SD	平均	SD	平均	SD			
不正確なまたは不十分な情報を与える*	4.35	0.97	4.43	0.89	4.34	0.94		3.83	1.15	4.46	0.79	4.62	0.73	4.23	1.30	
私に関心・共感・愛情を示してくれる	4.33	0.86	4.29	0.76	4.37	0.97		4.78	0.43	3.93	1.09	4.50	0.64	4.23	0.83	20>30
私の病気にことについて理解がある	4.27	0.93	4.46	0.69	4.07	1.13		4.50	0.71	4.07	1.09	4.28	0.96	4.38	0.77	
いつも私(患者さん)のそばにいてくれる	3.89	1.30	4.09	1.15	3.73	1.38		4.00	1.41	3.79	1.23	3.79	1.37	4.15	1.21	
実際に役立つ援助をしてくれる	3.81	1.03	3.76	0.99	3.83	1.07		3.72	1.02	3.79	1.17	3.90	0.98	3.77	0.93	
私が病気によって受けている衝撃を過少評価する*	3.74	1.11	3.72	1.11	3.78	1.13		3.56	0.98	3.79	1.10	3.79	1.21	3.77	1.17	
私の病気への対応を批判する*	3.72	1.25	3.61	1.27	3.85	1.24		3.61	1.29	3.61	1.26	3.93	1.25	3.62	1.26	
有益な情報またはアドバイスを与えてくれる	3.61	1.00	3.72	0.83	3.58	1.10		3.78	1.06	3.64	1.03	3.62	0.98	3.31	0.95	
私の病気の見通しなどに楽観的である	3.15	1.16	3.09	1.15	3.22	1.19		2.67	1.14	3.25	1.11	3.41	1.18	3.00	1.15	
私の病気を心配・悲観しすぎる*	3.03	1.34	2.96	1.17	3.10	1.53		2.44	1.38	3.43	1.26	3.03	1.40	3.00	1.15	

(*)は逆転項目：表2-1は高得点ほど患者は肯定的サポートが多く、否定的サポートが少ないとキーパーソンが推測していることを示す。空欄は有意差がないことを示す。)

表2-2 キーパーソンが推測した患者のサポート項目の平均値と標準偏差(患者の移植後年数別・患者の移植種類別)

サポート項目	移植後年数別										移植種類別						
	1年未満		1年~2年		2年~3年		3年~5年		5年以上		年数差	骨髄(血縁)		骨髄(非血縁)		臍帯血	種類差
	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD		平均	SD	平均	SD		
不正確なまたは不十分な情報を与える*	4.42	1.08	4.00	1.18	4.00	1.26	4.18	1.17	4.56	0.70		4.00	1.21	3.50	1.22	4.53	0.96
私に関心・共感・愛情を示してくれる	4.50	0.80	4.27	0.79	4.36	0.81	4.09	1.14	4.36	0.85		4.45	0.69	3.83	1.60	4.32	0.75
私の病気のことに理解がある	4.58	0.67	4.18	0.75	4.00	0.77	4.18	1.17	4.30	1.01		4.15	0.75	4.00	1.55	4.42	0.69
いつも私(患者さん)のそばにいてくれる	3.92	1.08	4.00	1.34	3.73	1.27	4.27	1.27	3.79	1.39		4.10	1.33	3.33	1.63	4.05	0.91
実際に役立つ援助をしてくれる	4.00	0.85	3.18	1.17	3.82	0.75	3.27	1.10	4.05	1.00		3.80	0.99	2.83	0.75	3.79	1.03
私が病気によって受けている衝撃を過少評価する*	3.67	0.89	3.73	1.19	3.91	0.94	3.91	1.14	3.67	1.21		3.75	1.02	3.17	0.98	4.05	0.97
私の病気への対応を批判する*	3.92	0.90	3.18	1.33	3.64	1.03	3.82	1.17	3.79	1.39		3.65	0.93	3.50	1.05	3.68	1.34
有益な情報またはアドバイスを与えてくれる	3.17	0.72	3.82	1.17	3.09	0.94	3.27	0.65	3.91	1.02		3.30	0.73	3.17	1.17	3.42	1.02
私の病気の見通しなどに楽観的である	2.58	1.08	2.91	1.04	2.82	1.25	3.55	1.21	3.35	1.13		3.30	1.08	2.83	0.75	2.63	1.30
私の病気を心配・悲観しすぎる*	2.25	1.14	3.09	1.45	3.18	1.25	3.36	1.36	3.12	1.37		2.80	1.06	3.17	1.17	3.05	1.65

(*)は逆転項目:表2-2は高得点ほど患者は肯定的サポートが多く、否定的サポートが少ないとキーパーソンが推測していることを示す。空欄は有意差がないことを示す。

表2-3 キーパーソンが推測した患者のサポート項目の平均値と標準偏差(患者が選択したキーパーソン別)

サポート項目	キーパーソン								キーパーソン差
	妻		夫		母		その他		
	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD	
不正確なまたは不十分な情報を与える*	4.61	0.76	4.44	0.86	3.91	1.08	4.38	1.15	
私に関心・共感・愛情を示してくれる	4.20	0.81	4.28	1.02	4.61	0.58	4.25	1.06	
私の病気のことに理解がある	4.55	0.68	3.89	1.28	4.35	0.78	4.06	1.00	
いつも私(患者さん)のそばにいてくれる	4.45	0.85	3.78	1.40	3.57	1.38	3.38	1.50	
実際に役立つ援助をしてくれる	3.87	0.92	3.83	1.25	3.65	1.03	3.88	1.02	
私が病気によって受けている衝撃を過少評価する*	3.71	1.19	3.72	1.27	3.70	0.93	3.88	1.09	
私の病気への対応を批判する*	3.58	1.34	4.22	0.94	3.65	1.27	3.50	1.32	
有益な情報またはアドバイスを与えてくれる	3.71	0.78	3.67	0.97	3.43	0.99	3.63	1.41	
私の病気の見通しなどに楽観的である	3.26	1.15	3.78	1.11	2.70	1.06	2.88	1.09	夫>母
私の病気を心配・悲観しすぎる*	3.06	1.03	3.17	1.42	2.57	1.53	3.50	1.41	

(*)は逆転項目:表2-3は高得点ほど患者は肯定的サポートが多く、否定的サポートが少ないとキーパーソンが推測していることを示す。空欄は有意差がないことを示す。

の得点を従属変数、移植後年数の5群を独立変数とした一要因分散分析を行った。その結果、いずれの項目においても、移植後年数の主効果は認められなかった。

(4) 移植の種類

移植種類別のサポート各項目の平均値および標準偏差は表2-2の通りである。サポート項目の得点を従属変数、移植種類の3群を独立変数とした一要因分散分析を行った。その結果、いずれの項目においても、移植種類の主効果は認められなかった。

(5) キーパーソン

患者が選択したキーパーソン別のサポート各項目の平均値および標準偏差は表2-3の通りである。サポート項目の得点を従属変数、キーパーソンの4群を独立変数とした一要因分散分析を行った。その結果、「病気の見通しに楽観的」(F(3,84)=3.62, p<.05)において患者が選択したキーパーソンの主効果が認められた。多重比較の結果、キーパーソンが母の人より夫の方が楽観的であると推測していた。

2. 患者の属性による“キーパーソンが推測した”患者のQOLの差の検討

(1) 性別

キーパーソンが推測した患者のWHO/QOL26各項目及び4領域(以下WHO/QOL26各項目及び4領域)の、患者の性別の平均値および標準偏差は表3-1の通りである。WHO/QOL26各項目と4領域を患者の性別によってt検定した結果、患者の性別の有意差は認められなかった。

(2) 現在の年齢

患者の現在の年齢別のWHO/QOL26各項目及び4領域の平均値及び標準偏差は表3-1の通りである。WHO/QOL26の各項目及び4領域の得点を従属変数、患者の現在の年齢の4群を独立変数

とした一要因分散分析を行った。その結果、いずれの項目および領域においても、患者の現在の年齢の主効果は認められなかった。

(3) 移植後の年数

移植後年数別のWHO/QOL26各項目及び4領域の平均値及び標準偏差は表3-2の通りである。WHO/QOL26の各項目及び4領域の得点を従属変数、移植後年数の5群を独立変数とした一要因分散分析を行った。その結果、「体の痛みなどによる制限」(F(4,118) = 5.91, p<.001)、「仕事能力の満足」(F(4,117) = 4.37, p<.01)、「健康状態の満足」(F(4,116) = 3.56, p<.01)、および「身体的領域」(F(4,112) = 3.60, p<.01)において、移植後年数の主効果が認められた。多重比較の結果、全体的に5年以上の患者の方が1年ないし2年未満の患者よりQOLが高いと推測されていた。

(4) 移植の種類

移植種類別のWHO/QOL26各項目及び4領域の平均値及び標準偏差は表3-3の通りである。WHO/QOL26の各項目及び4領域の得点を従属変数、移植種類の3群を独立変数とした一要因分散分析を行った。その結果、「家周辺の環境の満足」(F(2,60) = 4.86, p<.05)において移植種類の主効果が認められた。多重比較の結果、臍帯血移植および骨髄移植(非血縁)より骨髄移植(血縁)の方が高得点であった。

(5) キーパーソン

患者が選択したキーパーソン別のWHO/QOL26各項目及び4領域の平均値及び標準偏差は表3-3の通りである。WHO/QOL26の各項目及び4領域の得点を従属変数、患者が選択したキーパーソンの4群を独立変数とした一要因分散分析を行った。その結果、「生活の質」(F(3,120) = 4.65,

表3-1 キーパーソンが推測した患者のWHO/QOL26項目及び領域の平均値と標準偏差(全体・患者の性別・患者の年齢別)

WHO/QOL26項目	全体		性別				年齢											
	平均	SD	男性		女性		性差	20歳以下		30歳代		40歳代		50歳以上		年齢差		
			平均	SD	平均	SD		平均	SD	平均	SD	平均	SD					
自分の生活の質をどのように評価していますか	3.34	0.86	3.36	0.89	3.31	0.82		3.11	0.74	3.24	0.86	3.40	0.90	3.78	0.81			
自分の健康状態に満足していますか	3.17	0.98	3.07	1.01	3.28	0.95		2.89	1.01	3.08	1.04	3.37	0.91	3.33	0.91			
家の周囲を出まわることがよくありますか	3.84	1.00	3.78	1.00	3.92	1.01		3.46	1.20	3.84	0.87	4.08	0.88	3.94	1.08			
毎日の生活の中で治療(医療)がどのくらい必要ですか*	3.83	0.93	3.81	1.00	3.87	0.86		3.96	0.96	3.65	1.01	3.89	0.83	3.89	0.96			
毎日の生活を送るための活力はありますか	3.79	0.85	3.79	0.78	3.79	0.93		3.50	0.96	3.81	0.81	3.92	0.78	3.94	0.80			
睡眠は満足のいくものですか	3.61	0.93	3.51	0.89	3.74	0.98		3.61	0.92	3.59	0.99	3.60	0.93	3.67	0.91			
体の痛みや不快感のせいで、しなければならないことがどのくらい制限されていますか*	3.51	1.09	3.61	1.06	3.38	1.13		3.54	1.14	3.43	1.12	3.49	1.10	3.67	1.03			
毎日の活動をやり遂げる能力に満足していますか	3.50	0.92	3.52	0.85	3.47	1.01		3.32	1.09	3.44	0.77	3.62	0.90	3.61	0.98			
自分の仕事をする能力に満足していますか	3.40	1.01	3.47	1.01	3.32	1.02		3.23	0.91	3.49	0.93	3.50	1.06	3.28	1.23			
身体的領域 合計平均	3.64	0.96	3.64	0.94	3.64	0.99		3.52	1.03	3.61	0.93	3.73	0.93	3.71	1.00			
自分の生活をどのくらい意味のあるものと感じていますか	3.83	0.88	3.82	0.98	3.83	0.75		3.56	0.80	4.00	0.88	3.92	0.87	3.67	0.97			
自分の容姿(外見)を受け入れることが出来ますか	3.70	0.88	3.61	0.88	3.83	0.87		3.57	0.88	3.65	0.86	3.77	0.99	3.89	0.68			
物事にどのくらい集中することが出来ますか	3.69	0.92	3.72	0.94	3.65	0.91		3.39	0.96	3.75	0.97	3.76	0.88	3.89	0.83			
毎日の生活をどのくらい楽しく過ごしていますか	3.55	0.90	3.51	0.96	3.60	0.82		3.41	0.89	3.59	0.83	3.62	0.99	3.50	0.92			
気分がすぐれなかったり、絶望、不安、落ち込みといったいやな気分をどのくらいいひんばんに感じますか*	3.51	0.95	3.36	1.15	3.64	0.92		3.44	0.97	3.38	1.04	3.59	0.88	3.72	0.90			
自分自身に満足していますか	3.36	0.99	3.42	0.98	3.28	1.02		3.18	0.98	3.19	1.02	3.58	0.98	3.50	0.92			
心理的領域 合計平均	3.61	0.92	3.57	0.98	3.64	0.88		3.43	0.91	3.59	0.93	3.71	0.93	3.70	0.87			
毎日の生活はどのくらい安全ですか	3.75	0.81	3.70	0.77	3.81	0.86		3.54	0.88	3.70	0.70	3.90	0.75	3.83	0.99			
家と家のまわりの環境に満足していますか	3.86	0.84	3.71	0.82	3.59	0.86		3.54	0.92	3.73	0.93	3.65	0.83	3.72	0.46			
毎日の生活に必要な情報をどのくらい得ることが出来ますか	3.84	0.84	3.57	0.80	3.74	0.90		3.43	0.88	3.54	0.80	3.85	0.81	3.72	0.90			
周辺の交通の便に満足していますか	3.59	0.89	3.64	0.89	3.54	0.88		3.43	1.07	3.62	0.64	3.70	0.88	3.56	1.04			
自分の生活環境はどのくらい健康的ですか	3.57	0.86	3.56	0.84	3.58	0.89		3.48	0.70	3.46	0.99	3.64	0.90	3.78	0.65			
余暇を楽しむ機会はどのくらいありますか	3.39	1.00	3.35	0.95	3.43	1.07		3.32	1.02	3.49	1.02	3.33	1.06	3.39	0.85			
必要なものが買えるだけのお金を持っていますか	3.26	0.99	3.25	1.01	3.28	0.99		2.89	1.17	3.38	0.82	3.36	0.96	3.39	1.04			
医療施設や福祉サービスの利用しやすさに満足していますか	3.26	0.72	3.29	0.77	3.23	0.65		3.19	0.69	3.19	0.66	3.40	0.78	3.22	0.73			
環境領域 合計平均	3.52	0.87	3.51	0.86	3.53	0.89		3.35	0.92	3.51	0.86	3.60	0.87	3.58	0.83			
友人たちの支えに満足していますか	3.88	0.77	3.97	0.77	3.76	0.78		3.71	0.85	3.92	0.80	3.87	0.72	4.06	0.73			
人間関係に満足していますか	3.55	0.81	3.54	0.84	3.56	0.79		3.46	0.84	3.54	0.87	3.64	0.74	3.50	0.86			
性生活に満足していますか	3.04	0.81	3.05	0.87	3.02	0.74		3.05	0.85	2.86	0.72	3.05	0.88	3.33	0.77			
社会的関係 合計平均	3.49	0.80	3.52	0.82	3.45	0.77		3.41	0.85	3.44	0.80	3.52	0.78	3.63	0.79			

(*)は逆転項目:表3-1は高得点ほど、患者のQOLが高いとキーパーソンが推測していることを示す。空欄は有意差がないことを示す。)

表3-2 キーパーソンが推測した患者のWHO/QOL26項目及び領域の平均値と標準偏差(患者の移植後年数別)

WHO/QOL26項目	移植後年数										年数差
	1年未満		1年~2年		2年~3年		3年~5年		5年以上		
	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD	
自分の生活の質をどのように評価していますか	2.00	0.00	2.93	0.73	3.25	0.93	3.65	0.93	3.46	0.87	
自分の健康状態に満足していますか	2.60	0.99	2.69	0.86	3.00	0.89	3.20	1.01	3.44	0.94	5>-1
家の周囲をまわることがよくありますか	3.53	1.06	3.31	1.25	4.19	0.75	3.65	1.00	4.00	0.94	
毎日の生活の中で治療(医療)がどのくらい必要ですか*	3.47	1.13	3.62	0.87	4.00	1.03	3.82	0.73	3.93	0.92	
毎日の生活を送るための活力はありますか	3.40	0.83	3.62	0.87	4.06	0.68	3.88	1.17	3.83	0.76	
睡眠は満足のいくものですか	3.47	0.83	3.57	1.16	3.69	1.01	3.29	0.99	3.72	0.86	
体の痛みや不快感のせいで、しなければならぬことがどのくらい制限されていますか*	2.73	1.16	3.00	0.82	3.06	1.00	3.76	0.90	3.85	1.05	3-5,5->-1 5->-2,3
毎日の活動をやり遂げる能力に満足していますか	3.27	0.88	2.93	1.00	3.31	0.95	3.69	1.08	3.69	0.81	
自分の仕事をする能力に満足していますか	2.86	1.03	2.79	1.19	3.19	0.91	3.56	1.03	3.69	0.89	5->-1,1-2
身体的領域 合計平均	3.25	0.99	3.26	1.02	3.64	0.90	3.66	0.99	3.82	0.89	5->-1,1-2
自分の生活をどのくらい意味のあるものと感じていますか	3.73	0.88	4.00	0.82	3.94	0.77	3.81	1.05	3.79	0.90	
自分の容姿(外見)を受け入れることが出来ますか	3.67	0.62	3.46	0.78	3.69	0.87	3.76	1.15	3.75	0.89	
物事にどのくらい集中することが出来ますか	3.33	0.98	3.25	0.75	3.56	0.96	3.82	0.95	3.87	0.89	
毎日の生活をどのくらい楽しく過ごしていますか	3.20	0.78	3.31	0.75	3.69	0.79	3.53	1.07	3.65	0.94	
気分がすくねなかつたり、絶望、不安、落ち込みといったいやな気分をどのくらいひんばんに感じますか*	3.00	1.00	3.36	1.15	3.44	0.89	3.63	1.03	3.67	0.86	
自分自身に満足していますか	2.87	1.06	2.86	0.95	3.25	1.07	3.53	1.01	3.57	0.90	
心理的領域 合計平均	3.30	0.89	3.37	0.87	3.60	0.89	3.68	1.04	3.72	0.90	
毎日の生活はどのくらい安全ですか	3.80	0.68	3.54	0.66	3.56	0.81	3.76	1.09	3.82	0.79	
家と家のまわりの環境に満足していますか	3.40	0.83	3.57	0.76	3.81	0.98	3.82	1.02	3.66	0.77	
毎日の生活に必要な情報をどのくらい得ることが出来ますか	3.33	0.82	3.54	0.78	3.69	0.70	3.53	1.01	3.75	0.85	
周辺の交通の便に満足していますか	3.53	0.83	3.43	0.85	3.44	0.89	3.59	1.00	3.69	0.89	
自分の生活環境はどのくらい健康的ですか	3.47	0.92	3.31	0.86	3.75	0.76	3.63	1.03	3.59	0.82	
余暇を楽しむ機会はどのくらいありますか	2.93	1.03	3.46	0.97	3.63	0.96	3.18	0.95	3.48	1.01	
必要なものが買えるだけのお金を持っていますか	2.80	1.08	2.92	0.76	3.31	0.70	3.53	1.28	3.36	0.97	
医療施設や福祉サービスの利用しやすさに満足していますか	3.33	0.62	3.14	0.95	3.38	0.72	3.12	0.93	3.29	0.62	
環境領域 合計平均	3.32	0.85	3.36	0.82	3.57	0.82	3.52	1.04	3.58	0.84	
友人たちの支えに満足していますか	3.87	0.99	3.71	0.61	3.81	0.91	4.24	0.83	3.84	0.69	
人間関係に満足していますか	3.53	0.74	3.21	0.98	3.69	1.01	3.47	0.80	3.62	0.74	
性生活に満足していますか	3.00	0.41	2.93	0.62	3.06	0.93	3.14	1.10	3.04	0.83	
社会的関係 合計平均	3.47	0.71	3.28	0.74	3.52	0.95	3.62	0.91	3.50	0.75	

(*は逆転項目:表3-2は高得点ほど、患者のQOLが高いとキーパーソンが推測していることを示す。空欄は有意差がないことを示す。)

表3-3 キーパーソンが推測した患者のWHO/QOL26項目及び領域の平均値と標準偏差(患者の移植種類別・患者が選択したキーパーソン別)

WHO/QOL26項目	移植種類別						キーパーソン						キーパーソン差		
	骨髓(血縁)		骨髄(非血縁)		臍帯血		妻		夫		母			その他	
	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD		平均	SD
自分の生活の質をどのように評価していますか	3.33	0.88	3.00	0.94	3.19	0.75	3.58	0.93	3.58	0.71	3.14	0.71	2.89	0.88	妻>夫>その他
自分の健康状態に満足していますか	2.84	0.85	3.10	1.10	2.88	1.01	3.21	1.06	3.30	0.97	3.30	0.86	3.16	1.07	
家の周囲をまわることがよくありますか	3.81	1.06	3.60	1.43	3.64	0.86	3.76	1.03	4.13	0.62	3.86	0.92	3.58	1.02	
毎日の生活の中で治療(医療)がどのくらい必要ですか*	3.63	0.97	4.10	0.74	3.68	0.99	3.88	1.01	4.27	0.77	3.65	1.06	3.63	1.01	
毎日の生活を送るための活力はありますか	3.85	0.86	3.60	1.07	3.72	0.94	3.88	0.79	4.00	0.80	3.54	0.90	3.83	0.86	
睡眠は満足のいくものですか	3.48	0.94	3.70	1.06	3.46	1.03	3.65	1.19	3.43	0.99	3.65	1.03	3.00	1.00	
体の痛みや不快感のせいで、しなければならぬことがどのくらい制限されていますか*	3.15	1.06	3.30	1.16	3.12	0.97	3.63	0.90	3.75	0.85	3.54	0.93	3.53	1.12	
毎日の活動をやり遂げる能力に満足していますか	3.23	1.11	3.50	0.85	3.27	0.96	3.58	0.88	3.70	0.77	3.54	0.99	3.00	0.94	夫>その他
自分の仕事をする能力に満足していますか	3.04	1.15	3.10	0.99	3.16	1.03	3.47	1.12	3.54	0.88	3.46	0.95	3.00	1.00	
身体的領域 合計平均	3.46	0.71	3.56	0.74	3.46	0.68	3.69	0.99	3.83	0.81	3.61	0.97	3.37	0.99	
自分の生活をどのくらい意味のあるものと感じていますか	3.88	0.95	3.80	0.92	3.84	0.80	4.00	1.05	4.04	0.83	3.67	0.68	3.47	0.77	
自分の容姿(外見)を受け入れることが出来ますか	3.70	0.99	3.60	1.07	3.64	0.64	3.81	0.91	3.91	0.95	3.54	0.80	3.53	0.84	
物事にどのくらい集中することが出来ますか	3.58	0.95	3.60	0.97	3.40	0.91	3.65	0.97	3.70	0.97	3.47	0.81	3.26	0.81	
毎日の生活をどのくらい楽しく過ごしていますか	3.44	0.89	3.40	1.07	3.44	0.77	3.79	0.99	3.74	0.96	3.69	0.89	3.39	0.78	
気分がすくねなかつたり、絶望、不安、落ち込みといったいやな気分をどのくらいひんばんに感じますか*	3.38	0.85	3.70	1.25	3.23	1.07	3.57	1.13	3.71	0.81	3.44	0.84	3.26	0.87	
自分自身に満足していますか	3.26	0.98	2.90	1.20	3.12	1.03	3.56	1.03	3.46	1.02	3.24	0.93	3.00	0.94	
心理的領域 合計平均	3.57	0.68	3.50	0.82	3.44	0.64	3.73	1.01	3.76	0.92	3.51	0.83	3.32	0.84	
毎日の生活はどのくらい安全ですか	3.67	0.83	3.70	0.95	3.64	0.81	3.84	0.81	3.91	0.85	3.65	0.72	3.53	0.91	
家と家のまわりの環境に満足していますか	4.04	0.71	3.20	1.03	3.46	0.90	3.58	0.79	3.87	0.76	3.57	0.93	3.63	0.90	血>非臍
毎日の生活に必要な情報をどのくらい得ることが出来ますか	3.63	0.84	3.30	0.95	3.56	0.82	3.79	0.77	3.79	0.93	3.49	0.93	3.53	0.61	
周辺の交通の便に満足していますか	3.48	0.89	3.70	0.95	3.46	0.86	3.72	0.83	3.65	0.98	3.44	0.77	3.37	0.90	
自分の生活環境はどのくらい健康的ですか	3.54	0.86	3.30	1.06	3.64	0.86	3.53	0.86	3.35	1.07	3.22	1.09	3.37	1.07	
余暇を楽しむ機会はどのくらいありますか	3.37	0.79	3.00	1.25	3.36	1.08	3.60	0.88	3.42	0.83	3.65	0.90	3.68	1.00	
必要なものが買えるだけのお金を持っていますか	3.33	0.88	3.10	1.45	3.08	1.04	3.26	0.66	3.29	0.62	3.11	0.83	3.53	0.70	
医療施設や福祉サービスの利用しやすさに満足していますか	3.15	0.82	3.40	1.07	3.27	0.67	3.23	0.87	3.52	0.79	2.97	1.21	3.58	0.90	
環境領域 合計平均	3.56	0.47	3.34	0.81	3.43	0.58	3.57	0.81	3.60	0.85	3.39	0.92	3.53	0.87	
友人たちの支えに満足していますか	4.22	0.70	3.70	0.95	3.69	0.88	4.12	0.70	3.88	0.68	3.65	0.92	3.79	0.63	妻>母
人間関係に満足していますか	3.63	0.79	3.40	0.97	3.35	0.94	3.67	0.85	3.75	0.68	3.46	0.77	3.21	0.92	
性生活に満足していますか	3.04	1.06	3.00	1.07	3.04	0.20	3.16	0.95	3.12	0.90	2.74	0.66	3.05	0.41	
社会的関係 合計平均	3.61	0.67	3.38	0.97	3.37	0.50	3.65	0.83	3.58	0.75	3.28	0.78	3.35	0.65	妻>母

(*は逆転項目:表3-3は高得点ほど、患者のQOLが高いとキーパーソンが推測していることを示す。空欄は有意差がないことを示す。)

p<.01)、「活動能力の満足」(F(3,119)=2.95, p<.05)、「友人の支え」(F(3,120)=2.63, p<.05)、および「社会的領域」(F(3,109)=3.50, p<.05)において患者が選択したキーパーソンの主効果が認められた。多重比較の結果、いずれも配偶者からのサポートを受けている人の方が、その他の人からサポートを受けている人より、これらの内容に関してQOLが高いと推測されていた。

3. 患者の属性による“キーパーソンが推測した”現在の体調・生活の差の検討

(1) 性別

キーパーソンが推測した患者の現在の体調・生活各項目（以下現在の体調・生活各項目）の、患者の性別の平均値および標準偏差は表4-1の通りである。現在の体調・生活の各項目を患者の性別によってt検定した結果、「性の肉体的な制限」(t(110)=-3.56, p<.001)、「性に関してパートナーに申し訳なく思う」(t(102.70)=-3.26, p<.01)、「皮膚の変化」(t(121)=2.71, p<.01)において患者の性別による有意差が認められた。性に関する項目はいずれも患者が女性の方が、皮膚の変化は男性の方が高得点であった。

(2) 現在の年齢

患者の現在の年齢別の、現在の体調・生活各項目の平均値および標準偏差は表4-1の通りである。現在の体調・生活の各項目の得点を従属変数、患者の現在の年齢の4群を独立変数とした一要因分散分析を行った。その結果、「周囲の目が気になる」(F(3,117)=3.59, p<.05)において患者の現在の年齢の主効果が認められた。多重比較の結果、患者が40歳代以下の方が50歳以上より周囲の目を気にしていると推測されていた。

(3) 移植後の年数

移植後年数別の現在の体調・生活各項目の平均値および標準偏差は表4-2の通りである。現在の体調・生活の各項目の得点を従属変数、移植後年数の5群を独立変数とした一要因分散分析を行った。その結果、「体重が回復しない」(F(4,118)=10.28, p<.001)、「食事の制限」(F(4,116)=9.70, p<.001)、「(職場、学校、家事など)以前と同じようにできる」(F(4,114)=8.97, p<.001)、「毛髪の変化」(F(4,119)=6.29, p<.001)、「全身の症状」(F(4,118)=5.03, p<.001)、

表4-1 キーパーソンが推測した患者の現在の体調・生活の平均値と標準偏差(全体・患者の性別・患者の年齢別)

現在の体調・生活項目	全体		性別				年齢									
	平均	SD	男性		女性		性差	20歳代以下		30歳代		40歳代		50歳以上		年齢差
			平均	SD	平均	SD		平均	SD	平均	SD	平均	SD			
皮膚の症状(かゆみ、乾燥など)がある	3.33	1.37	3.46	1.34	3.13	1.39		3.50	1.35	3.16	1.41	3.43	1.34	3.21	1.44	
皮膚の変化がある	3.03	1.44	3.32	1.33	2.63	1.48	男>女	3.04	1.17	2.84	1.66	3.05	1.41	3.37	1.46	
毛髪の変化がある	2.98	1.54	3.03	1.49	2.87	1.61		3.14	1.56	2.76	1.57	3.18	1.52	2.74	1.56	
感染症(カゼなど)にかかりやすくなった	2.96	1.25	2.88	1.33	3.02	1.12		3.29	1.18	2.97	1.19	2.74	1.21	2.89	1.52	
収入が減った	2.87	1.59	2.87	1.60	2.88	1.62		2.61	1.62	2.75	1.52	2.98	1.63	3.21	1.69	
体型の変化がある	2.85	1.42	2.97	1.47	2.67	1.33		2.68	1.47	2.86	1.38	2.95	1.45	2.89	1.45	
性に対する意欲、関心が薄れた	2.84	1.14	2.67	1.14	3.09	1.11		2.45	1.00	2.86	1.03	3.05	1.12	2.79	1.44	
(職場、学校、家事など)無理をしてがんばっている	2.69	1.31	2.55	1.32	2.87	1.31		2.81	1.47	2.50	1.18	2.97	1.35	2.32	1.20	
(職場、学校、家事など)以前と同じようにできる*	2.66	1.42	2.73	1.51	2.56	1.32		2.92	1.41	2.37	1.26	2.51	1.47	3.11	1.56	
呼吸器の症状(咳、痰など)がある	2.52	1.24	2.53	1.23	2.46	1.24		2.71	1.30	2.27	1.22	2.79	1.17	2.16	1.26	
性に関してパートナーに申し訳なく思う	2.46	1.05	2.19	1.10	2.82	0.87	女>男	2.71	0.69	2.61	0.97	2.29	1.06	2.32	1.38	
性に関して肉体的な制限(痛みなど)がある	2.45	1.16	2.14	1.07	2.89	1.16	女>男	2.35	0.88	2.51	1.04	2.59	1.35	2.16	1.21	
全身の症状(体力の低下、微熱など)がある	2.39	1.35	2.46	1.40	2.31	1.30		2.36	1.37	2.19	1.37	2.69	1.30	2.21	1.36	
経済的理由で生活が変わった	2.24	1.35	2.10	1.30	2.41	1.41		2.17	1.49	2.14	1.18	2.37	1.41	2.21	1.40	
消化器の症状(吐き気、下痢など)がある	2.08	1.23	2.07	1.27	2.06	1.17		2.29	1.41	1.95	1.03	2.26	1.31	1.68	1.11	
人との関わりが苦痛である	2.07	1.02	2.04	1.07	2.10	0.96		2.04	1.02	2.08	1.00	2.28	1.08	1.68	0.89	
種々の症状(痛み、しびれなど)で生活の制限がある	2.06	1.29	1.99	1.31	2.13	1.28		1.68	1.25	1.95	1.20	2.41	1.33	2.11	1.33	
周囲の目が気になる	2.05	1.14	2.06	1.17	2.02	1.11		2.41	1.34	2.19	1.09	2.00	1.12	1.37	0.60	20,30,40>50
体重が回復しない	2.02	1.46	2.24	1.62	1.76	1.20		2.25	1.67	1.86	1.36	2.05	1.49	1.95	1.31	
味覚障害がある	1.97	1.32	1.99	1.28	1.89	1.33		1.89	1.19	1.62	1.11	2.10	1.41	2.47	1.54	
食事に制限がある	1.81	1.25	1.93	1.30	1.67	1.18		1.85	1.38	1.62	1.09	2.10	1.37	1.53	1.02	
充分に食事がとれない	1.72	1.14	1.82	1.20	1.61	1.07		1.96	1.45	1.57	0.99	1.79	1.03	1.53	1.12	

(*)は逆転項目:表4-1は高得点ほど、これらの問題を患者自身が自覚しているとキーパーソンが推測していることを示す。空欄は有意差がないことを示す。)

「周囲の目が気になる」(F(4,116) = 4.60, p<.01)、「収入の減少」(F(4,113) = 4.20, p<.01)、「十分に食事がとれない」(F(4,118) = 4.06, p<.01)、「皮膚の変化」(F(4,119) = 3.84, p<.01)、「味覚障害」(F(4,117) = 3.53, p<.01)において、移植後年数の主効果が認められた。多重比較の結果、食事に関する問題は1年未満の方が2年以上の群より高かった。また内容によっては2年から5年までの群の方が、5年以上の群よりこれらの問題を感じていた。

(4) 移植の種類

移植種類別の現在の体調・生活各項目の平均値および標準偏差は表4-2の通りである。現在の体調・生活の各項目の得点を従属変数、移植種類の3群を独立変数とした一要因分散分析を行う

表4-2 キーパーソンが推測した患者の現在の体調・生活の平均値と標準偏差(患者の移植後年数別・患者の移植種類別)

現在の体調・生活項目	移植後年数										移植種類							
	1年未満		1年~2年		2年~3年		3年~5年		5年以上		年数差	骨髓(血縁)		骨髓(非血縁)		臍帯血		種類差
	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD		平均	SD	平均	SD	平均	SD	
皮膚の症状(かゆみ、乾燥など)がある	4.00	1.25	3.64	1.28	3.24	1.68	2.82	1.59	3.26	1.21		3.00	1.47	3.20	1.55	3.88	1.45	
皮膚の変化がある	3.87	1.30	3.79	1.05	3.29	1.45	2.71	1.45	2.67	1.42	-1>5-	3.22	1.40	2.80	1.48	3.77	1.27	
毛髪の変化がある	4.07	1.03	3.64	1.22	3.53	1.55	2.00	1.28	2.67	1.55	-1,1-2,2-3>3-5 -1>5-	3.19	1.52	2.10	1.29	3.81	1.30	臍>非
感染症(カゼなど)にかかりやすくなった	2.79	0.89	3.14	1.29	3.18	1.33	3.12	1.32	2.85	1.29		3.07	1.30	2.80	1.23	3.16	1.14	
収入が減った	4.36	1.15	3.00	1.73	2.82	1.38	2.81	1.72	2.52	1.51	-1>2-3,5-	3.23	1.31	2.80	1.93	3.38	1.79	
体型の変化がある	3.67	1.50	3.14	1.35	3.00	1.46	2.82	1.33	2.56	1.38		3.30	1.46	2.60	1.51	3.19	1.33	
性に対する意欲、関心が薄れた	3.17	1.12	3.00	1.04	3.18	1.19	3.00	1.20	2.58	1.12		3.12	1.21	2.88	1.36	3.13	0.95	
(職場、学校、家事など)無理をしてがんばっている	2.50	1.29	2.79	1.25	3.35	1.06	2.44	1.32	2.59	1.38		3.15	1.05	2.60	1.17	2.48	1.42	
(職場、学校、家事など)以前と同じようにできる *	3.93	1.21	3.29	1.44	3.35	1.12	2.31	1.49	2.09	1.20	-1,1-2,2-3>5- -1>3-5	3.04	1.34	3.00	1.41	3.44	1.50	
呼吸器の症状(咳、痰など)がある	2.73	1.10	2.50	1.35	2.88	1.45	2.00	1.17	2.52	1.20		2.67	1.44	2.00	1.05	2.58	1.21	
性に関してパートナーに申し訳なく思う	2.42	1.08	2.77	1.17	2.69	0.79	2.64	1.15	2.27	1.05		2.96	1.12	2.29	0.95	2.42	0.88	
性に関して肉体的な制限(痛みなど)がある	2.42	1.00	2.79	1.25	2.76	1.09	2.53	1.30	2.25	1.14		2.73	1.25	2.25	1.04	2.67	1.09	
全身の症状(体力の低下、微熱など)がある	3.29	1.33	3.21	1.48	2.65	1.17	2.06	1.30	2.02	1.22	-1,1-2>5-	2.96	1.34	2.60	1.43	2.60	1.41	
経済的理由で生活が変わった	2.64	1.45	2.38	1.50	2.29	1.16	2.47	1.50	2.02	1.29		2.63	1.04	1.90	1.45	2.46	1.64	
消化器の症状(吐き気、下痢など)がある	2.79	1.37	2.14	1.23	1.88	1.22	1.71	0.99	2.07	1.23		2.11	1.12	2.20	1.48	2.04	1.31	
人との関わりが苦痛である	2.57	0.85	2.29	1.20	2.35	1.00	1.88	1.05	1.88	1.00		2.22	1.01	1.90	0.99	2.44	1.08	
種々の症状(痛み、しびれなど)で生活の制限がある	2.79	1.42	2.64	1.45	2.12	1.45	1.82	1.19	1.80	1.12		2.56	1.42	1.90	1.20	2.20	1.44	
周囲の目が気になる	3.00	1.04	2.29	1.54	2.35	0.93	1.82	1.24	1.75	0.94	-1>5-	2.19	1.14	2.20	1.40	2.56	1.29	
体重が回復しない	3.93	1.21	2.36	1.50	2.12	1.45	1.76	1.39	1.56	1.15	-1>1-2,2-3,3-5,5-	2.67	1.59	1.80	1.32	2.56	1.66	
味覚障害がある	2.29	1.07	2.93	1.44	2.24	1.68	1.82	1.38	1.63	1.09	1-2>5-	2.44	1.58	1.50	0.85	2.44	1.42	
食事に制限がある	3.08	1.12	2.86	1.56	1.59	1.23	1.47	1.67	1.45	0.93	-1>2-3,3-5,5-	2.30	1.61	2.00	1.25	2.08	1.28	
十分に食事がとれない	2.64	1.28	2.14	1.41	1.76	1.30	1.47	0.94	1.48	0.92	-1>3-5,5-	1.93	1.24	1.80	1.32	2.08	1.35	

(*)は逆転項目:表4-2は高得点ほど、これらの問題を患者自身が自覚しているとキーパーソンが推測していることを示す。空欄は有意差がないことを示す。

表4-3 キーパーソンが推測した患者の現在の体調・生活の平均値と標準偏差(患者が選択したキーパーソン別)

現在の体調・生活項目	キーパーソン									
	妻		夫		母		その他		キーパーソン差	
	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD
皮膚の症状(かゆみ、乾燥など)がある	3.30	1.41	3.04	1.52	3.41	1.28	3.60	1.27		
皮膚の変化がある	3.30	1.49	2.62	1.61	2.95	1.27	3.10	1.41		
毛髪の変化がある	2.95	1.54	2.71	1.73	2.97	1.59	3.35	1.23		
感染症(カゼなど)にかかりやすくなった	2.77	1.43	2.75	1.19	3.39	1.05	2.85	1.14		
収入が減った	2.98	1.63	2.46	1.44	2.84	1.57	3.21	1.75		
体型の変化がある	3.09	1.51	2.75	1.39	2.49	1.39	3.15	1.23		
性に対する意欲、関心が薄れた	2.67	1.29	3.29	1.16	2.67	0.83	2.89	1.05		
(職場、学校、家事など)無理をしてがんばっている	2.44	1.37	2.92	1.25	2.74	1.36	2.89	1.20		
(職場、学校、家事など)以前と同じようにできる *	2.76	1.59	2.12	1.12	2.68	1.45	3.05	1.22		
呼吸器の症状(咳、痰など)がある	2.38	1.23	2.37	1.21	2.65	1.25	2.75	1.33		
性に関してパートナーに申し訳なく思う	2.12	1.18	2.92	0.83	2.67	0.80	2.42	1.02	夫>妻	
性に関して肉体的な制限(痛みなど)がある	2.07	1.16	3.17	1.34	2.44	0.89	2.42	0.84	夫>妻	
全身の症状(体力の低下、微熱など)がある	2.51	1.50	2.46	1.32	2.11	1.26	2.55	1.19		
経済的理由で生活が変わった	2.09	1.21	2.17	1.20	2.27	1.53	2.58	1.50		
消化器の症状(吐き気、下痢など)がある	2.00	1.25	1.92	1.14	2.14	1.31	2.35	1.18		
人との関わりが苦痛である	1.95	1.07	2.08	1.10	2.11	1.02	2.26	0.81		
種々の症状(痛み、しびれなど)で生活の制限がある	2.20	1.44	2.29	1.33	1.53	0.91	2.40	1.27		
周囲の目が気になる	1.91	1.07	1.96	1.16	2.20	1.28	2.21	1.03		
体重が回復しない	2.30	1.60	1.50	1.06	1.97	1.52	2.15	1.35		
味覚障害がある	2.14	1.36	1.79	1.41	1.63	1.06	2.40	1.43		
食事に制限がある	2.09	1.39	1.62	1.14	1.44	0.93	2.05	1.40		
十分に食事がとれない	1.88	1.26	1.42	0.88	1.61	1.10	1.95	1.19		

(*)は逆転項目:表4-3は高得点ほど、これらの問題を患者自身が自覚しているとキーパーソンが推測していることを示す。空欄は有意差がないことを示す。

た。その結果、「毛髪の変化」(F(2,60) = 5.49, p<.01)において移植種類の主効果が認められた。多重比較の結果、臍帯血移植の方が骨髓移植(非血縁)より高得点であった。

(5) キーパーソン

患者が選択したキーパーソン別の現在の体調・生活各項目の平均値および標準偏差は表4-3の通りである。現在の体調・生活の各項目の得点を従属変数、患者が選択したキーパーソンの4群を独立変数とした一要因分散分析を行った。その結果、「性に関する肉体的な制限」(F(3,109) = 5.13, p<.01)、「性に関してパートナーに申し訳なく思う」(F(3,103) = 3.58, p<.05)において、患者が選択したキーパーソンの主効果が認められた。多重比較の結果、キーパーソンが夫である、すなわち患者が妻である人の方が、キーパーソンが妻(患者は夫)である人よりも高得点であった。

4. 患者の属性による“キーパーソンが推測した”今後の不安の差の検討

(1) 性別

キーパーソンが推測した患者の今後の不安各項目(以下今後の不安項目)の、患者の性別の平均値および標準偏差は表5-1の通りである。今後の不安の各項目を患者の性別によってt検定した結果、「性」(t(110.54) = -2.19, p<.05)、「再発」(t(120) = 3.04, p<.01)において、患者の性別による有意差が認められた。「性」は患者が女性である方が、「再発」は男性である方が高得点であった。

(2) 現在の年齢

患者の現在の年齢別の、今後の不安各項目の平均値および標準偏差は表5-1の通りである。今後の不安の各項目の得点を従属変数、患者の現在の年齢の4群を独立変数とした一要因分散分析を行った。その結果、「性」(F(3,112) = 4.16, p<.01)と「社会生活」(F(3,118) = 3.77, p<.05)において、患者の現在の年齢の主効果が認められた。多重比較の結果、50歳以上より30歳代や20歳代以下の方が、これらの不安を強く感じていると推測されていた。

(3) 移植後の年数

移植後年数別の今後の不安各項目の平均値および標準偏差は表5-2の通りである。今後の不安の各項目の得点を従属変数、移植後年数の5群を独立変数とした一要因分散分析を行った。その結果、「食事」(F(4,118) = 10.12, p<.001)、「感染症」(F(4,119) = 6.32, p<.001)、「社会生活」(F(4,117) = 5.92, p<.001)、「再発」(F(4,118) = 5.57, p<.001)、「GVHD」(F(4,117) = 3.99, p<.01)、「容姿の変化」(F(4,118) = 3.83, p<.01)、「将来全般」(F(4,117) = 3.83, p<.01)、「経済状況」(F

表5-1 キーパーソンが推測した患者の今後の不安(全体・患者の性別・患者の年齢別)

今後の不安項目	全体		性別				性差	年齢								年齢差
	平均	SD	男性		女性			20歳代以下	30歳代		40歳代		50歳以上			
			平均	SD	平均	SD			平均	SD	平均	SD	平均	SD		
将来全般について	3.39	1.13	3.54	1.11	3.15	1.12		3.63	1.00	3.54	1.19	3.21	1.13	3.11	1.15	
再発について	3.37	1.19	3.64	1.15	3.00	1.14	男>女	3.54	1.11	3.24	1.32	3.28	1.12	3.58	1.22	
感染症について	3.20	1.26	3.22	1.33	3.15	1.16		3.43	1.00	3.19	1.39	3.12	1.20	3.05	1.47	
GVHDについて	3.19	1.20	3.22	1.26	3.15	1.13		3.39	1.20	3.16	1.21	3.13	1.06	3.06	1.51	
その他の症状について	2.93	1.17	3.29	1.15	2.91	1.20		3.19	1.04	1.92	1.09	2.92	1.11	2.37	1.26	
経済状況について	2.83	1.25	2.77	1.32	2.91	1.17		3.11	1.28	2.86	1.25	2.65	1.15	2.74	1.41	
性について	2.79	1.00	2.62	1.10	3.02	0.90	女>男	2.90	1.09	3.16	0.96	2.64	0.87	2.26	0.99	20,30>50
社会生活について	2.73	1.20	2.67	1.21	2.80	1.20		3.14	1.24	2.95	1.27	2.51	1.05	2.11	1.02	20>50
容姿の変化について	2.54	1.12	2.50	1.13	2.57	1.13		2.61	1.26	2.65	1.14	2.59	1.07	2.11	0.94	
社会的人間関係について	2.35	1.05	2.28	1.04	2.44	1.06		2.54	1.20	2.57	1.09	2.25	0.90	1.89	0.88	
食事について	2.01	1.10	2.07	1.14	1.94	1.05		2.04	1.14	1.92	1.09	2.13	1.13	1.89	1.05	
家族関係について	2.01	1.00	1.97	1.00	2.04	1.01		1.96	1.00	2.14	1.06	2.03	0.95	1.79	1.03	

(表5-1は高得点ほど、患者が各不安を感じているとキーパーソンが推測していることを示す。空欄は有意差がないことを示す。)

表5-2 キーパーソンが推測した患者の今後の不安の平均値と標準偏差(患者の移植後年数別・患者の移植種類別)

今後の不安項目	移植後年数										移植種類							
	1年未満		1年～2年		2年～3年		3年～5年		5年以上		年数差	骨髄(血縁)		骨髄(非血縁)		臍帯血		種類差
	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD		平均	SD	平均	SD	平均	SD	
将来全般について	4.14	0.86	4.00	1.04	3.29	1.21	3.29	1.28	3.12	1.04	-1>5-	3.48	1.12	3.60	1.26	3.84	1.18	
再発について	4.33	0.90	3.92	1.04	3.53	1.33	3.35	1.17	2.98	1.09	-1>5-	3.59	1.15	3.40	1.17	4.08	1.15	
感染症について	4.27	0.59	3.79	1.19	3.41	1.23	3.12	1.27	2.77	1.20	-1>3-5.5-	3.78	1.15	3.00	1.25	3.69	1.12	
GVHDIについて	3.80	0.86	3.93	0.92	3.27	1.34	3.24	1.25	2.75	0.96	-1.1-2>5-	3.54	1.07	3.30	1.42	3.64	1.11	
その他の症状について	3.64	0.93	3.57	1.09	2.88	1.11	2.71	1.11	2.69	1.19		3.26	1.10	2.70	1.16	3.24	1.13	
経済状況について	3.71	0.99	3.29	1.14	2.76	1.20	2.82	1.51	2.54	1.16	-1>5-	3.07	1.27	2.90	1.45	3.24	1.23	
性について	3.33	0.49	2.79	0.98	2.88	1.05	2.79	0.89	2.66	1.08		2.96	0.89	2.88	1.25	2.92	0.83	
社会生活について	3.73	0.96	3.43	1.02	2.65	0.93	2.44	1.41	2.42	1.12	-1.1-2>5-;-1>3-5	2.88	1.18	2.90	1.37	3.23	1.18	
容姿の変化について	3.29	0.91	3.14	1.29	2.47	0.94	2.18	1.02	2.34	1.09	-1>3-5.5-	2.78	1.12	2.20	1.14	2.88	1.09	
社会的人間関係について	2.93	0.96	2.64	1.28	2.41	0.94	2.29	1.26	2.15	0.93		2.52	0.98	2.30	1.34	2.69	1.19	
食事について	3.21	0.98	2.79	1.37	1.71	0.99	1.88	1.11	1.67	0.79	-1>2-3.3-5.5-	2.48	1.34	1.80	0.92	2.40	1.26	
家族関係について	2.27	1.28	2.29	1.14	2.18	1.13	1.82	1.13	1.89	0.80		1.96	0.94	2.00	1.49	2.35	1.23	

(表5-2は高得点ほど、患者が各不安を感じているとキーパーソンが推測していることを示す。空欄は有意差がないことを示す。)

表5-3 キーパーソンが推測した患者の今後の不安の平均値と標準偏差(患者が選択したキーパーソン別)

今後の不安項目	キーパーソン								キーパーソン差
	妻		夫		母		その他		
	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD	
将来全般について	3.35	1.19	2.83	1.13	3.60	0.98	3.75	1.07	その他>夫
再発について	3.63	1.24	3.91	1.13	3.27	1.15	3.55	1.15	
感染症について	3.19	1.42	3.04	1.23	3.27	1.07	3.30	1.30	
GVHDIについて	3.16	1.33	3.00	1.18	3.14	1.08	3.61	1.15	
その他の症状について	2.91	1.27	2.58	1.21	2.97	1.04	3.37	1.07	
経済状況について	2.74	1.33	2.37	0.97	3.27	1.15	3.55	1.15	
性について	2.49	1.06	2.88	0.95	3.24	0.95	2.70	0.80	母>妻
社会生活について	2.52	1.25	2.33	1.09	3.03	1.19	3.11	1.05	
容姿の変化について	2.42	1.12	2.50	1.14	2.56	1.13	2.80	1.11	
社会的人間関係について	2.14	1.04	2.12	0.85	2.59	1.14	2.65	0.99	
食事について	2.21	1.13	1.83	0.92	1.83	1.13	2.10	1.17	
家族関係について	1.91	0.97	1.92	0.72	1.81	0.91	2.70	1.26	

(表5-3は高得点ほど、患者が各不安を感じているとキーパーソンが推測していることを示す。空欄は有意差がないことを示す。)

(4,118) = 3.29, $p < .05$) において、移植後の年数の主効果が認められた。多重比較の結果、いずれも1年未満の患者の方が5年以上の患者より、これらの不安が高いと推測されていた。

(4) 移植の種類

移植種類別の今後の不安各項目の平均値および標準偏差は表5-2の通りである。今後の不安の各項目の得点を従属変数、移植種類の3群を独立変数とした一要因分散分析を行った。その結果、いずれの項目においても移植種類の主効果は認められなかった。

(5) キーパーソン

患者が選択したキーパーソン別の今後の不安各項目の平均値および標準偏差は表5-3の通りである。今後の不安の各項目の得点を従属変数、患者が選択したキーパーソンの4群を独立変数とした一要因分散分析を行った。その結果、「性」($F(3,112) = 3.62, p < .05$)、「将来全般」($F(3,118) = 3.20, p < .05$) において、患者が選択したキーパーソンの主効果が認められた。多重比較の結果、「将来全般」はキーパーソンが夫よりもその他の人である方が、また「性」は妻よりも母の人である方が、これらの不安が高いと推測されていた。

5. キーパーソンの性差による“キーパーソンが推測した”患者の受けているサポート、QOL、現在の体調、将来の不安差の検討

(1) サポート

キーパーソンの性別のサポート各項目の平均値および標準偏差は表6-1の通りである。サポート各項目をキーパーソンの性別によってt検定した結果、いずれの項目においてもキーパーソン

表6-1 キーパーソンが推測した患者のサポート項目の平均値と標準偏差(キーパーソンの性別・キーパーソンの年齢別)

サポート項目	性別					年齢										年齢差
	男性		女性		性差	20歳代以下		30歳代		40歳代		50歳以上				
	平均	SD	平均	SD		平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD			
不正確または不十分な情報を与える*	4.46	0.83	4.31	1.02		3.71	1.50	4.56	0.81	4.53	0.86	4.23	0.97			
私に関心・共感・愛情を示してくれる	4.25	1.15	4.37	0.73		4.43	0.79	4.13	1.09	4.28	0.92	4.46	0.70			
私の病気のことに理解がある	3.96	1.33	4.39	0.70		4.14	0.38	4.31	1.08	4.33	0.92	4.23	0.97			
いつも私(あなた)のそばにいてくれる	3.88	1.30	3.89	1.31		3.57	1.40	4.13	1.31	4.23	1.10	3.54	1.38			
実際に役立つ援助をしてくれる	3.96	1.16	3.75	0.98		3.43	1.27	3.88	1.20	4.00	0.87	3.69	1.02			
私が病気によって受けている衝撃を過少評価する*	3.71	1.23	3.75	1.07		3.57	0.98	3.81	1.17	3.80	1.16	3.69	1.11			
私の病気への対応を批判する*	4.04	1.16	3.59	1.27		3.43	1.40	3.63	1.26	3.70	1.29	3.83	1.22			
有益な情報またはアドバイスを与えてくれる	3.67	1.13	3.59	0.95		3.14	1.35	3.81	0.98	3.80	1.03	3.46	0.89			
私の病気の見通しなどに楽観的である	3.54	1.22	3.00	1.11		3.43	1.27	3.19	1.17	3.30	1.18	2.94	1.14			
私の病気を心配・悲観しすぎる*	3.13	1.51	3.00	1.28		3.86	0.90	3.38	1.09	2.87	1.31	2.86	1.50			

(*)は逆転項目:表6-1は高得点ほど患者は肯定的サポートが多く、否定的サポートが少ないとキーパーソンが推測していることを示す。空欄は有意差がないことを示す。)

表6-2 キーパーソンが推測した患者のWHO/QOL26項目及び領域の平均値と標準偏差(キーパーソンの性別・キーパーソンの年齢別)

WHO/QOL26項目	性別					年齢										年齢差
	男性		女性		性差	20歳代以下		30歳代		40歳代		50歳以上				
	平均	SD	平均	SD		平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD			
自分の生活の質をどのように評価していますか	3.62	0.70	3.23	0.89	男>女	3.13	1.25	3.30	0.87	3.46	0.87	3.31	0.79			
自分の健康状態に満足していますか	3.48	0.91	3.06	0.99	男>女	3.63	0.92	3.00	1.21	3.19	0.98	3.16	0.90			
毎日の生活の中で治療(医療)がどのくらい必要ですか *	4.16	0.99	3.74	0.99		3.88	1.13	3.85	0.88	3.91	0.95	3.85	1.08			
家の周囲を出回ることがよくありますか	4.03	0.70	3.76	1.00	男>女	3.63	1.06	3.60	1.00	4.06	0.96	3.76	0.87			
毎日の生活を送るための活力はありますか	4.12	0.74	3.67	0.85		3.75	1.16	4.00	0.73	3.80	0.90	3.73	0.81			
体の痛みや不快感のせいで、しなければならないことがどのくらい制限されていますか *	3.82	0.80	3.53	0.96		3.00	1.07	3.70	0.80	3.76	0.86	3.61	0.93			
睡眠は満足のものですか	3.42	0.94	3.53	1.14		2.75	1.16	3.30	1.38	3.72	1.00	3.51	1.02			
毎日の活動をやり遂げる能力に満足していますか	3.73	0.80	3.40	0.96		2.88	1.13	3.45	0.83	3.58	0.84	3.53	0.97			
自分の仕事をする能力に満足していますか	3.59	0.86	3.32	1.07		3.13	1.13	3.55	1.00	3.53	0.88	3.29	1.09			
身体的領域 合計平均	3.84	0.83	3.56	1.00		3.29	0.85	3.64	0.95	3.77	0.91	3.61	0.97			
自分の生活をどのくらい意味のあるものと感じていますか	4.06	0.75	3.73	0.91	男>女	3.63	1.06	4.15	1.09	3.89	0.85	3.69	0.78			
自分の容姿(外見)を受け入れることが出来ますか	3.91	0.88	3.63	0.87		3.63	1.19	3.80	0.83	3.75	0.97	3.66	0.80			
毎日の生活をどのくらい楽しく過ごしていますか	3.70	0.92	3.68	0.93		3.50	1.07	3.85	1.14	3.63	0.91	3.71	0.86			
物事にどのくらい集中することができますか	3.79	0.96	3.45	0.87		3.38	0.92	3.75	0.91	3.64	0.87	3.41	0.90			
気分がすぐれなかったり、絶望、不安、落ち込みといったいやな気分をどのくらいひんぱんに感じますか *	3.76	0.79	3.43	0.99		3.25	1.04	3.25	1.29	3.78	0.95	3.47	0.76			
自分自身に満足していますか	3.56	0.96	3.28	1.00		3.25	1.28	3.20	1.11	3.43	1.04	3.37	0.89			
心理的領域 合計平均	3.80	0.88	3.53	0.93		3.44	0.96	3.67	1.06	3.69	0.93	3.55	0.83			
毎日の生活はどのくらい安全ですか	4.00	0.75	3.64	0.81	男>女	3.38	0.92	3.85	0.67	3.75	0.81	3.75	0.84			
毎日の生活に必要な情報をどのくらい得ることが出来ますか	3.79	0.85	3.61	0.83		3.63	0.92	3.85	0.99	3.70	0.81	3.58	0.81			
家と家のまわりの環境に満足していますか	3.85	0.80	3.58	0.86		3.63	0.74	3.60	0.82	3.75	0.81	3.69	0.89			
余暇を楽しむ機会はどのくらいありますか	3.59	0.89	3.60	0.88		3.63	1.06	3.50	0.61	3.73	0.87	3.54	0.99			
周辺の交通の便に満足していますか	3.57	0.88	3.52	0.84		3.63	0.74	3.55	1.10	3.56	0.94	3.60	0.72			
自分の生活環境はどのくらい健康的ですか	3.33	1.11	3.41	0.96		3.38	0.74	3.65	0.93	3.31	0.98	3.32	1.03			
医療施設や福祉サービスの利用しやすさに満足していますか	3.48	0.97	3.20	1.01	男>女	3.25	0.46	3.40	0.68	3.06	0.92	3.31	1.12			
必要なものが買えるだけのお金を持っていますか	3.53	0.75	3.16	0.68		3.75	1.04	3.30	0.47	3.36	0.72	3.19	0.81			
環境領域 合計平均	3.64	0.88	3.47	0.86		3.53	0.60	3.59	0.78	3.53	0.86	3.50	0.90			
友人たちの支えに満足していますか	3.97	0.67	3.84	0.81		4.00	0.76	4.00	0.73	3.96	0.71	3.78	0.83			
人間関係に満足していますか	3.76	0.70	3.46	0.84		3.25	1.28	3.60	0.94	3.69	0.71	3.47	0.75			
性生活に満足していますか	3.09	0.79	3.01	0.82		3.50	1.07	3.00	0.46	3.14	0.91	2.90	0.78			
社会的関係 合計平均	3.61	0.72	3.44	0.82		3.58	0.94	3.53	0.71	3.60	0.78	3.38	0.79			

(*)は逆転項目:表6-2は高得点ほど、患者のQOLが高いとキーパーソンが推測していることを示す。空欄は有意差がないことを示す。)

の性別の有意差は認められなかった。

(2) QOL

キーパーソンの性別のWHO/QOL26各項目及び4領域の平均値及び標準偏差は表6-2の通りである。WHO/QOL26各項目と4領域をキーパーソンの性別によってt検定した結果、「医療施設や福祉サービスの利用しやすさ」(t(55.04)=2.52, p<.05)、「毎日の生活の安全」(t(61.31)=2.28, p<.05)、「生活の質」(t(122)=2.27, p<.05)、「健康状態の満足」(t(119)=2.17, p<.05)、「生活の意味」(t(69.55)=2.04, p<.05)、「家の周囲を出回る頻度」(t(120)=2.02, p<.05)においてキーパーソンの性別による有意差が認められた。いずれもキーパーソンが男性の方が女性よりこれらのQOLを高く推測していた。

(3) 現在の体調・生活

キーパーソンの性別の現在の体調・生活各項目の平均値および標準偏差は表6-3の通りである。

表6-3 キーパーソンが推測した患者の現在の体調・生活の平均値と標準偏差(キーパーソンの性別・キーパーソンの年齢別)

現在の体調・生活項目	性別				年齢								年齢差	
	男性		女性		性差	20歳以下		30歳代		40歳代		50歳以上		
	平均	SD	平均	SD		平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均		SD
皮膚の症状(かゆみ、乾燥など)がある	3.06	1.41	3.43	1.34		3.63	1.30	3.50	1.50	3.27	1.39	3.27	1.34	
皮膚の変化がある	2.65	1.57	3.18	1.37		3.50	1.31	3.45	1.64	2.84	1.48	2.95	1.36	
毛髪の変化がある	2.53	1.62	3.14	1.49		3.63	1.30	3.10	1.59	2.86	1.60	2.92	1.54	
感染症(カゼなど)にかかりやすくなった	2.76	1.09	3.03	1.30		3.50	1.69	2.80	1.15	2.32	1.31	3.34	1.00	50>40
収入が減った	2.68	1.53	2.95	1.62		2.50	1.51	2.55	1.70	2.91	1.40	3.02	1.69	
体型の変化がある	2.68	1.32	2.92	1.46		3.50	1.31	3.30	1.30	2.73	1.52	2.69	1.38	
性に対して意欲、関心が薄れた	3.18	1.16	2.70	1.11	男>女	2.75	1.28	2.90	1.17	2.57	1.12	3.02	1.12	
(職場、学校、家事など)無理をしがらばっている	2.78	1.26	2.66	1.34		2.88	1.25	2.30	1.22	2.84	1.48	2.71	1.24	
(職場、学校、家事など)以前と同じようにできる*	2.32	1.30	2.79	1.46		2.63	0.92	2.40	1.47	2.75	1.48	2.69	1.45	
呼吸器の症状(咳、痰など)がある	2.41	1.21	2.56	1.26		3.13	1.64	2.50	1.32	2.17	1.06	2.66	1.24	
性に関してパートナーに申し訳なく思う	2.88	0.89	2.27	1.06	男>女	2.25	1.04	2.35	1.09	2.29	1.02	2.88	1.05	
性に関して肉体的な制限(痛みなど)がある	2.97	1.26	2.24	1.05	男>女	2.25	0.89	2.30	1.17	2.43	1.27	2.56	1.13	
全身の症状(体力の低下、微熱など)がある	2.39	1.30	2.39	1.37		2.63	1.30	2.45	1.61	2.27	1.33	2.41	1.30	
経済的理由で生活が変わった	2.26	1.33	2.22	1.36		2.63	1.51	1.90	1.02	2.29	1.32	2.27	1.45	
消化器の症状(吐き気、下痢など)がある	2.09	1.16	2.08	1.26		2.50	1.31	1.90	1.07	2.11	1.28	2.07	1.26	
人との関わりが苦痛である	2.03	1.06	2.09	1.15		2.13	0.99	2.10	1.02	2.24	1.16	1.95	0.92	
種々の症状(痛み、しびれなど)で生活の制限がある	2.27	1.31	1.98	1.28		2.50	1.41	2.35	1.46	1.97	1.24	1.95	1.25	
周囲の目が気になる	1.94	1.13	2.09	1.15		2.38	0.92	2.25	1.16	2.11	1.27	1.89	1.07	
体重が回復しない	1.61	1.12	2.18	1.54	女>男	2.75	1.49	2.20	1.54	1.76	1.40	2.03	1.45	
味覚障害がある	1.79	1.34	2.03	1.31		3.00	1.60	1.85	1.23	1.95	1.29	1.88	1.30	
食事に制限がある	1.76	1.20	1.83	1.27		2.25	1.83	2.05	1.32	1.86	1.29	1.63	1.10	
十分に食事がとれない	1.52	0.91	1.80	1.21		2.50	1.41	1.90	1.17	1.54	1.04	1.67	1.13	

(*)は逆転項目:表6-3は高得点ほど、これらの問題を患者自身が自覚しているとキーパーソンが推測していることを示す。空欄は有意差がないことを示す。)

表6-4 キーパーソンが推測した患者の今後の不安の平均値と標準偏差(キーパーソンの性別・キーパーソンの年齢別)

今後の不安項目	性別				年齢								年齢差	
	男性		女性		性差	20歳以下		30歳代		40歳代		50歳以上		
	平均	SD	平均	SD		平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均		SD
将来全般について	2.85	1.09	3.58	1.09	女>男	3.38	1.06	3.40	1.47	3.43	1.04	3.35	1.09	
再発について	2.91	1.13	3.54	1.17	女>男	4.00	0.93	3.25	1.48	3.44	1.03	3.29	1.20	
感染症について	2.91	1.19	3.31	1.27		3.88	0.99	3.30	1.49	2.86	1.25	3.29	1.18	
GVHDについて	3.00	1.13	3.26	1.23		3.67	1.03	3.45	1.32	2.84	1.19	3.27	1.16	
その他の症状について	2.64	1.14	3.05	1.17		3.38	0.92	3.32	1.29	2.70	1.15	2.89	1.16	
経済状況について	2.50	1.05	2.96	1.30		3.25	1.04	2.60	1.39	2.64	1.07	2.97	1.31	
性について	2.79	0.93	2.80	1.03		2.25	0.89	3.00	0.97	2.61	0.96	2.92	1.03	
社会生活について	2.35	1.04	2.88	1.23	女>男	2.88	0.99	2.85	1.42	2.61	1.05	2.74	1.25	
容姿の変化について	2.30	1.08	2.62	1.13		2.63	1.19	2.80	1.28	2.59	1.14	2.40	1.04	
社会的人間関係について	2.06	0.78	2.47	1.11	女>男	2.63	0.92	2.50	1.15	2.22	1.03	2.36	1.05	
食事について	1.73	0.84	2.11	1.17	女>男	2.25	0.89	2.35	1.18	2.05	1.08	1.83	1.09	
家族関係について	1.82	0.67	2.08	1.09		2.88	1.46	2.25	1.12	1.95	0.94	1.85	0.87	20>50

(表6-4は高得点ほど、患者が各不安を感じているとキーパーソンが推測していることを示す。空欄は有意差がないことを示す。)

現在の体調・生活の各項目をキーパーソンの性別によってt検定した結果、「性に関して肉体的な制限がある」(t(111)=3.18, p<.01)、「性に関してパートナーに申し訳なく思う」(t(72.57)=3.06, p<.01)、「体重が回復しない」(t(78.51)=-2.26, p<.05)、「性に関して意欲、関心が薄れた」(t(111)=2.08, p<.05)においてキーパーソンの性別による有意差が認められた。性に関する項目はいずれもキーパーソンが男性の方が、体重に関しては女性の方が高得点であった。

(4) 将来の不安

キーパーソンの性別の今後の不安各項目の平均値および標準偏差は表6-4の通りである。今後の不安の各項目をキーパーソンの性別によってt検定した結果、「将来全般」(t(120)=-3.32, p<.01)、「再発」(t(121)=-2.69, p<.01)、「社会的人間関係」(t(85.19)=-2.30, p<.05)、「社会生活」(t(120)=-2.19, p<.05)、「食事」(t(79.03)=-2.01, p<.05)においてキーパーソンの性別による有意差が認められた。いずれもキーパーソンが女性の方が男性よりこれらの不安を高く推測していた。

6. キーパーソンの年齢差による“キーパーソンが推測した”患者の受けているサポート、QOL、現在の体調・将来の不安差の検討

(1) サポート

キーパーソンの現在の年齢別の、サポート各項目の平均値および標準偏差は表6-1の通りである。サポート項目の得点を従属変数、キーパーソンの現在の年齢の4群を独立変数とした一要因分散分析を行った。その結果、いずれの項目においてもキーパーソンの現在の年齢の主効果は認められなかった。

(2) QOL

キーパーソンの現在の年齢別の、WHO/QOL26各項目及び4領域の平均値及び標準偏差は表6-2の通りである。WHO/QOL26の各項目及び4領域の得点を従属変数、キーパーソンの現在の年齢の4群を独立変数とした一要因分散分析を行った。その結果、「睡眠の満足」($F(3,120) = 2.79, p < .05$)において、キーパーソンの現在の年齢の主効果が認められた。多重比較の結果、20歳代以下より40歳代のキーパーソンの方が、患者が睡眠に満足していると推測していた。

(3) 現在の体調・生活

キーパーソンの現在の年齢別の、現在の体調・生活各項目の平均値および標準偏差は表6-3の通りである。現在の体調・生活の各項目の得点を従属変数、キーパーソンの現在の年齢の4群を独立変数とした一要因分散分析を行った。その結果、「感染症のかかりやすさ」($F(3,119) = 6.37, p < .001$)において、キーパーソンの現在の年齢の主効果が認められた。多重比較の結果、40歳代より50歳以上の方が高得点であった。

(4) 今後の不安

キーパーソンの現在の年齢別の、今後の不安各項目の平均値および標準偏差は表6-4の通りである。今後の不安の各項目の得点を従属変数、キーパーソンの現在の年齢の4群を独立変数とした一要因分散分析を行った。その結果、「家族関係」($F(3,120) = 3.10, p < .05$)において、キーパーソンの現在の年齢の主効果が認められた。多重比較の結果、50歳以上より20歳代以下のキーパーソンの方が家族関係について不安を高く推測していた。

7. “キーパーソンが推測した”患者の受けているサポートの高低によるQOL、現在の体調、将来の不安差の検討

(1) サポート高群・低群の群分け

キーパーソンが推測した患者の受けている有益なサポートが多いほど、高得点になるようにデータを変換した結果、得点範囲は10～50、平均値は37.90点、標準偏差は4.90であった。そこで平均値±1SDを基準に分布を考慮し、42点以上をサポート高群、41点～34点をサポート中群、33点以下をサポート低群とした。その結果、サポート高群は23名、サポート中群は50名、サポート低群は14名であった。

(2) サポートの高低によるQOLの検討

サポート群別のWHO/QOL26の各項目及び4領域の平均値及び標準偏差は表7-1の通りである。WHO/QOL26の各項目及び4領域の得点を従属変数、サポートの3群を独立変数とした一要因分散分析を行った。その結果、項目ごとでは、「人間関係の満足」($F(2,84) = 6.65, p < .01$)、「自分自身の満足」($F(2,84) = 6.03, p < .01$)、「活動能力の満足」($F(2,83) = 5.97, p < .01$)、「生活の質」($F(2,84) = 5.49, p < .01$)、「生活環境の健康さ」($F(2,82) = 4.51, p < .05$)、「毎日の生活の楽しさ」

表7-1 キーパーソンが推測した患者のWHO/QOL26項目及び領域の平均値と標準偏差(有益なサポート別)

領域	WHO/QOL26項目	有益なサポート						サポート差
		低群		中群		高群		
		平均	SD	平均	SD	平均	SD	
身体的領域	自分の生活の質をどのように評価しますか	3.07	0.62	3.22	0.86	3.87	0.97	高>低・中
	自分の健康状態に満足していますか	3.07	0.83	3.06	1.02	3.50	1.01	
	毎日の生活の中で治療(医療)がどのくらい必要ですか*	3.79	0.97	3.82	1.01	3.83	1.03	
	家の周囲を出まわることがよくありますか	3.64	0.93	3.88	1.05	4.09	0.85	
	毎日の生活を送るための活力はありますか	3.57	0.65	3.79	0.85	4.26	0.69	高>低・中
	体の痛みや不快感のせいで、しなければならぬことがどのくらい制限されていますか*	3.36	0.84	3.22	1.14	3.83	1.07	
	睡眠は満足のいくものですか	3.43	0.94	3.46	1.03	3.91	0.79	
	毎日の活動をやり遂げる能力に満足していますか	3.00	0.88	3.43	0.96	4.00	0.74	高>低
	自分の仕事をする能力に満足していますか	2.79	0.80	3.33	1.08	3.78	1.04	高>低・中
	身体的領域 合計平均	3.37	0.55	3.60	0.77	3.96	0.60	高>低
心理的領域	自分の生活をどのくらい意味のあるものと感じていますか	3.57	0.76	3.92	0.90	4.17	0.89	
	自分の容姿(外見)を受け入れることができますか	3.64	0.74	3.63	0.83	4.17	0.94	高>低・中
	毎日の生活をどのくらい楽しく過ごしていますか	3.29	0.73	3.45	0.87	4.00	0.90	高>低
	物事にどのくらい集中することができますか	3.54	0.78	3.58	0.96	4.00	0.95	
	気分がすぐれなかったり、絶望、不安、落ち込みといったいやな気分をどのくらいひんぱんに感じますか*	3.43	0.85	3.33	1.01	3.96	0.98	
	自分自身に満足していますか	2.86	0.77	3.24	1.00	3.91	1.00	高>低・中
心理的領域 合計平均	3.37	0.54	3.55	0.67	4.04	0.76	高>低・中	
環境領域	毎日の生活はどのくらい安全ですか	3.43	0.65	3.69	0.77	3.96	0.82	
	毎日の生活に必要な情報をどのくらい得ることができますか	3.79	0.89	3.57	0.87	3.87	0.87	
	家と家のまわりの環境に満足していますか	3.64	0.74	3.62	0.78	4.09	0.67	高>低・中
	あなたの生活環境はどのくらい健康的ですか	3.21	0.70	3.48	0.97	4.00	0.60	高>低・中
	余暇を楽しむ機会はどのくらいありますか	3.21	0.97	3.43	0.98	3.74	0.86	
	周辺の交通の便に満足していますか	3.50	0.76	3.62	0.90	3.78	0.80	
	医療施設や福祉サービスの利用のしやすさに満足していますか	3.14	0.36	3.31	0.74	3.48	0.73	
必要なものが買えるだけのお金を持っていますか	3.36	1.01	3.24	1.07	3.65	0.93		
環境領域 合計平均	3.41	0.48	3.51	0.54	3.82	0.48	高>低	
社会的関係	友人たちの支えに満足していますか	3.71	0.73	3.82	0.72	4.09	0.67	
	人間関係に満足していますか	3.50	0.52	3.42	0.81	4.09	0.67	高>低・中
	性生活に満足していますか	2.69	0.63	3.11	0.78	3.30	0.88	
	社会的関係 合計平均	3.31	0.48	3.44	0.57	3.83	0.52	高>低・中

(*)は逆転項目・表7-1は高得点ほど、患者のQOLが高いとキーパーソンが推測していることを示す。空欄は有意差がないことを示す。)

(F(2,83) = 4.15, p<.05)、「毎日の生活を送るための活力」(F(2,82) = 4.15, p<.05)、「仕事能力の満足」(F(2,82) = 4.13, p<.05)、「自分の容姿の受け入れ」(F(2,83) = 3.39, p<.05)、「家周辺の環境の満足」(F(2,84) = 3.24, p<.05)において、サポート群の主効果が認められた。多重比較の結果、サポート低群より高群の方がQOLの高かった項目は、「活動能力の満足」と「毎日の生活の楽しさ」であった。他の項目はすべて低・中群より高群の方が高かった。

また領域においては、「心理的領域」(F(2,80) = 5.33, p<.01)、「社会的領域」(F(2,78) = 5.03, p<.01)、「環境」(F(2,81) = 3.74, p<.05)、「身体的領域」(F(2,79) = 3.49, p<.05)のすべてにおいてサポート群の主効果が認められた。多重比較の結果、「心理的領域」と「社会的領域」は低・中群より高群の方が高く、「身体的領域」と「環境領域」はサポート低群より高群の方が高かった。

(3) サポートの高低による現在の体調・生活の差の検討

サポート群別の現在の体調・生活各項目及び4領域の平均値及び標準偏差は表7-2の通りである。現在の体調・生活の各項目を従属変数、サポートの3群を独立変数とした一要因分散分析を行った。その結果、「(職場・学校・家事など)以前と同じようにできる」(F(2,80) = 8.07, p<.001)、「周囲の目が気になる」(F(2,82) = 7.12, p<.01)、「毛髪の変化」(F(2,84) = 4.39, p<.05)、「人との関わりが苦痛」(F(2,82) = 3.63, p<.05)においてサポート群の主効果が認められた。多

表7-2 キーパーソンが推測した患者の現在の体調・生活の平均値と標準偏差(有益なサポート別)

現在の不安・体調項目	有益なサポート						サポート差
	低群		中群		高群		
	平均	SD	平均	SD	平均	SD	
皮膚の症状(かゆみ、乾燥など)がある	3.29	1.33	3.56	1.33	2.83	1.40	
性に対する意欲、関心がうすれた	2.77	1.01	2.89	1.08	2.82	1.33	
毛髪の変化がある	2.71	1.49	3.42	1.49	2.35	1.53	中>高
収入が減った	3.57	1.22	3.06	1.61	2.52	1.72	
皮膚の変化がある	2.50	1.51	3.40	1.31	2.61	1.70	
性に関してパートナーに申し訳なく思う	2.67	0.89	2.54	1.12	2.05	1.00	
感染症(カゼなど)にかかりやすくなった	3.14	1.23	3.14	1.22	2.61	1.37	
(職場、学校、家事など)無理をしてがんばっている	2.92	1.04	2.71	1.31	2.82	1.56	
(職場、学校、家事など)以前と同じようにできる*	3.08	1.26	2.94	1.46	1.64	1.05	低・中>高
体型の変化がある	2.71	1.33	3.06	1.33	2.78	1.51	
全身の症状(体力低下、微熱など)がある	2.36	1.22	2.61	1.46	2.30	1.36	
性に関して肉体的な制限(痛みなど)がある	2.31	1.11	2.68	1.01	2.05	1.17	
呼吸器の症状(咳、痰など)がある	2.57	1.40	2.60	1.23	2.22	1.28	
経済的理由で生活が変わった	2.36	1.22	2.35	1.38	2.24	1.45	
周囲の目が気になる	1.77	0.93	2.44	1.21	1.45	0.74	中>高
人との関わりが苦痛である	2.00	0.91	2.36	1.01	1.68	1.04	中>高
種々の症状(痛み、しびれなど)で生活の制限がある	2.36	1.15	2.18	1.38	1.74	1.21	
体重が回復しない	2.00	1.41	2.20	1.55	1.74	1.29	
消化器の症状(吐き気、下痢など)がある	2.29	1.38	2.27	1.22	1.83	1.27	
食事に制限がある	2.14	1.35	1.90	1.26	1.70	1.29	
味覚障害がある	2.43	1.45	2.12	1.39	1.65	1.03	
完全に食事がとれない	1.64	0.93	1.84	1.25	1.52	0.99	

(*)は逆転項目:表7-2は高得点ほど、これらの問題を患者自身が自覚しているとキーパーソンが推測していることを示す。空欄は有意差がないことを示す。)

表7-3 キーパーソンが推測した患者の今後の不安の平均値と標準偏差(有益なサポート別)

将来の不安項目	有益なサポート						サポート差
	低群		中群		高群		
	平均	SD	平均	SD	平均	SD	
将来全般について	3.57	1.16	3.63	1.02	2.87	1.14	中>高
再発について	3.50	1.22	3.65	1.16	3.13	1.25	
感染症について	3.50	1.22	3.40	1.31	3.00	1.13	
性について	2.85	0.90	2.87	1.00	2.39	0.94	
その他の症状について	2.86	1.29	3.22	1.16	2.70	1.18	
GVHDについて	3.00	1.08	3.35	1.20	3.09	1.16	
経済状況について	3.00	1.30	2.98	1.20	2.35	1.15	
社会生活について	2.93	1.00	3.06	1.28	2.22	0.95	中>高
社会的人間関係について	2.50	0.94	2.52	1.11	2.04	0.88	
容姿の変化について	2.29	0.91	2.92	1.11	1.91	1.00	中>高
家族関係について	2.14	0.95	2.18	1.08	1.39	0.50	中>高
食事について	2.36	1.39	2.12	1.13	1.74	0.96	

(表7-3は高得点ほど、患者が各不安を感じているとキーパーソンが推測していることを示す。空欄は有意差がないことを示す。)

重比較の結果、「(職場・学校・家事など)以前と同じようにできる」は高群より低・中群が、「毛髪の変化」、「周囲の目が気になる」、「人との関わりが苦痛」は高群より中群が高かった。

(4) サポートの高低による将来の不安の差の検討

サポート群別の将来の不安各項目及び4領域の平均値及び標準偏差は表7-3の通りである。将来の不安の各項目を従属変数、サポートの3群を独立変数とした一要因分散分析を行った。その結果、「容姿の変化」(F(2,83)=7.62, p<.001)、「家族関係」(F(2,84)=5.81, p<.01)、「社会生活」(F(2,83)=4.22, p<.05)「将来全般」(F(2,82)=4.00; p<.05)、においてサポート量の主効果が認められた。多重比較の結果、いずれも高群より中群の方が高かった。

考 察

本研究で分析した対象は、“キーパーソンが推測した”患者の受けているサポート、QOL、現在の体調・生活、今後の不安であった。しかし全体の傾向としては、大木他(2002)で分析した

患者の回答とほぼ同様の傾向が示された。

まずサポートに関して、キーパーソンが推測しているということは、ある意味においてはキーパーソン自身の自己評価ともなる。しかし患者・キーパーソンのいずれの属性においてもほとんど差は認められなかった。すなわち本研究の結果からは、キーパーソンの自己評価におけるサポート量・内容は、患者とキーパーソン両者の関係性に規定されるものであり、性別や年齢といった属性によって左右されることは少ないといえる。これはキーパーソンが誰であるかということより、実際の患者への関与の仕方の方がより重要な要素であることを示唆していると考えられる。

次にQOLは患者の性差や年齢差、キーパーソンの年齢差によってはキーパーソンの評価に差が認められなかった。また患者が選択したキーパーソン間でもあまり大きな差は見られなかった。しかしそれとは異なり、男性のキーパーソンは女性のキーパーソンより患者のQOLを高く評価していた。また現在の体調や今後の不安において、女性はこれらの問題や不安を高く評価しているのに対し、男性は低く評価していた。すなわち全体的に女性のキーパーソンは男性に比べ、患者の種々の状態を低く評価し、心配しているといえる。本研究においては患者データとキーパーソンデータの比較を行っていないため、男性が患者のQOLを高く評価しすぎているのか、あるいは女性が低く評価しすぎているのかについて、一概に結論づけることはできない。しかしこのようなキーパーソンの性差が明らかになったところに、今後のスタッフの介入の方向性がうかがえたといえる。

また患者の回答と同様、キーパーソンから見ても、全体的には時間の経過とともに、QOLや体調は向上し、不安は低下していた。とくに1年未満の群は他の群よりQOLは低く、体調が悪いと評価されている。移植直後の1年は、実際に体調がまだ戻らないこともあり、本人ももちろんであるが、キーパーソンも不安が高い様子うかがえる。今後の経過の不透明さがその不安を増長する一因ともなるため、患者のみならずキーパーソンに本研究の結果を示すことにより、将来の展望が明確になり、多少なりとも不安を軽減する一助となるかもしれない。

最後に患者の場合と同様、患者が有益なサポートを多く得ている（すなわちキーパーソンが与えている）と感じている人の方が、少ないと感じている人より種々の面において、QOLを高く、現在の体調の問題や今後の不安を低く推測していた。しかし大木他（2002）では高・中群の方が低群よりQOLを高く示していたのに対し、本研究においては、高群のみが中・低群よりQOLを高く推測していた。また現在の体調・生活や今後の不安では、ほとんどの項目において、中群のみが高群より不安や心配の程度が高かった。すなわち患者とキーパーソン間では、サポート中群にあたる人々の認識のずれが示唆されている。中群にあたる人々は、高群に比べ、自己の与えるサポートに関して自己評価が低く、だからこそ患者のQOLを低く予想しているのかもしれない。今後実際に患者がどのように受けとめているのかを比較することにより、キーパーソンの過度の不安や心配を軽減する援助ができると思われる。

容易に改善しない身体疾患の場合は、それに伴う主観的な苦痛も簡単には改善されない。そしてこの間の患者の苦痛や不安に直面し続けることになるキーパーソンの苦痛や負担もまた大きい。医療者はそのような辛い状況にある患者のみならず、患者を取り巻く人々、とくにキーパーソンをも支える存在でなくてはならない。医療スタッフの関わりによってキーパーソンが好ましい状態を持続し、それによって患者への望ましい対応を促進するものとなるよう、今回の結果をサポートの充実に役立てていくことが医療スタッフの責務であるといえよう。

引用文献

Dakof, G.A. & Taylor, S.E. 1990 Victims' perceptions of social support: What is helpful from whom? *Journal of Personality and Social Psychology*, **58**, 80-89.

森令子・須山寿子・尾上裕子・井関徹・浅野茂隆・大木桃代 2001 臍帯血移植症例と骨髄移植症例の医療者に対する要望と退院後のQOLに関する比較検討 第24回日本造血細胞移植学会抄録集, 247.

大木桃代・森令子・井関徹・尾上裕子・須山寿子・高橋聡・浅野茂隆 2002 成人造血細胞移植患者のQuality of Life (QOL) に関連する要因の検討 (1) 人間科学研究 (文教大学人間科学部), **24**, 117-132.

田崎美弥子・中根允文 1997 WHO/QOL-26手引き 金子書房

(注) 本研究の一部は第25回日本造血細胞移植学会シンポジウムにおいて発表されたものである。

また調査にご協力下さった患者の皆様ならびにキーパーソンの皆様に深謝致します。